

スポーツアスリートとともにあゆむSankenの施工実例 2

体育館フロア再生工事 編

(床改修工事 / 基礎改善工事)



Sanken Floor Selection for any Athlete.
技術と真心で奉仕する スポーツフロアコンサルタント



体育館フロア補修のエキスパート

株式会社三建

補修工程 ①



補修前点検で修繕箇所の入念なチェック



大きく裂けた床材



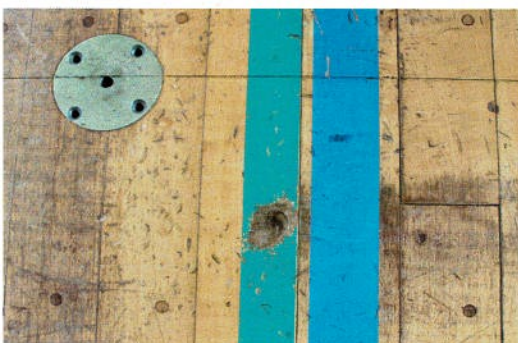
新規のボールアンカーの設置箇所の特定制量



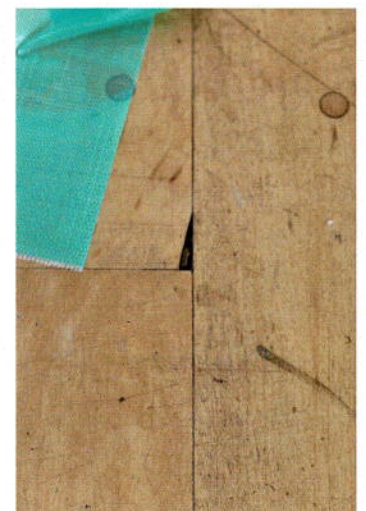
グラつきのあるボールアンカー器具と床



引きずりによるダメージ痕



鉄棒アンカーの脇に空いたキズ穴



危険なフローア材の欠損

補修工程 ②



床材をはがしたグラつきのあるポールアンカー基礎の状態



床材の剥離に着手



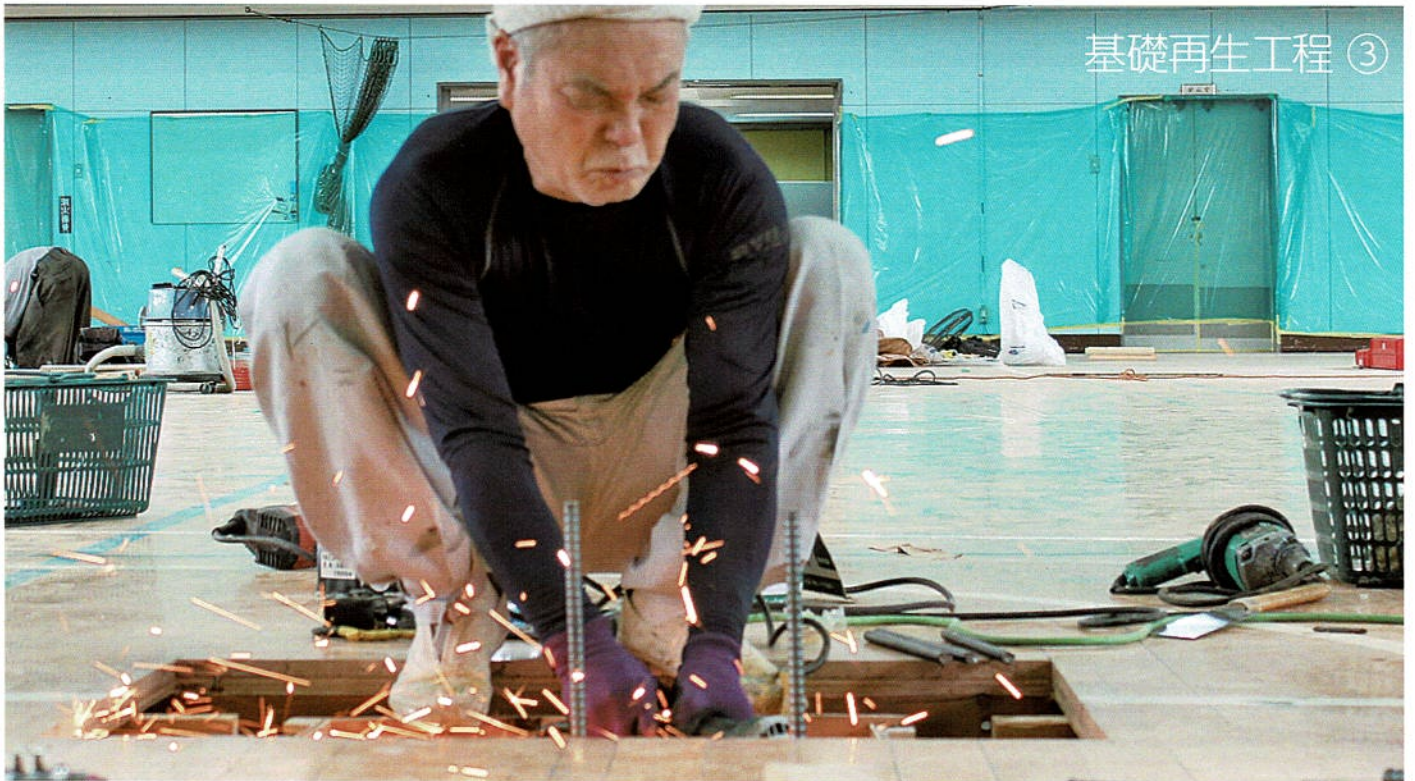
慎重な床材の剥離工程



ポールを立ててチェック



基礎部が見えてくる



基礎再生工程 ③



修繕箇所の開口作業



鉄筋アンカー設置用の穿孔作業



新しい基礎用の型枠 (仮合わせ)



型枠の綿密なチェック



鉄筋アンカーの打ち込み

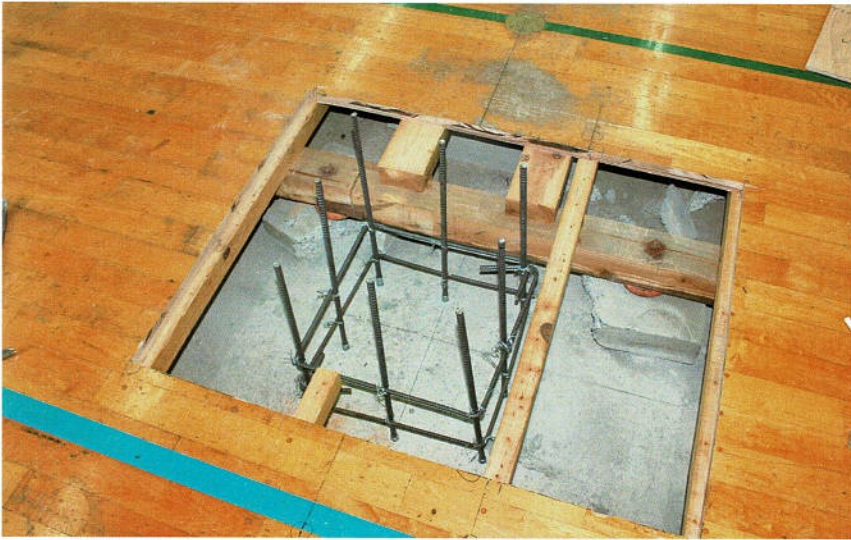
基礎再生工程 ④



型枠を一旦外して鉄筋合わせ



鉄筋の切断で大きくあがる火柱



全体基礎との一体化をチェック



鉄筋を切断して高さを調節

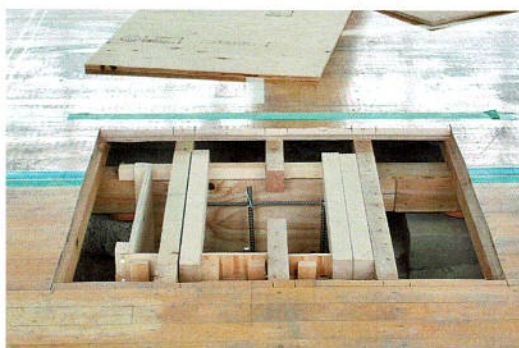


型枠を再度設置して生コン注入に備える

補修工程 ⑤



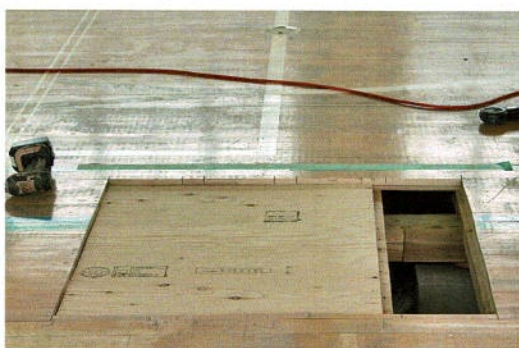
型枠設置完了後、開口部の閉鎖作業へ



大引きに根太を足す



床材を貼るために周囲の床材を割り付ける



コンパネで下地材を貼る



コンパネをしっかり留める

熟練の床材貼り込み作業。サネ合わせもピッタリ

補修工程 ⑥



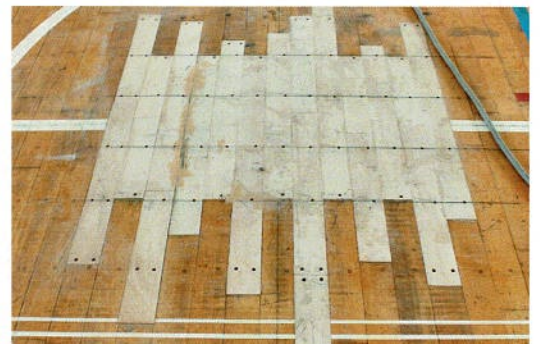
貼り込み後、根太合わせの墨つけ



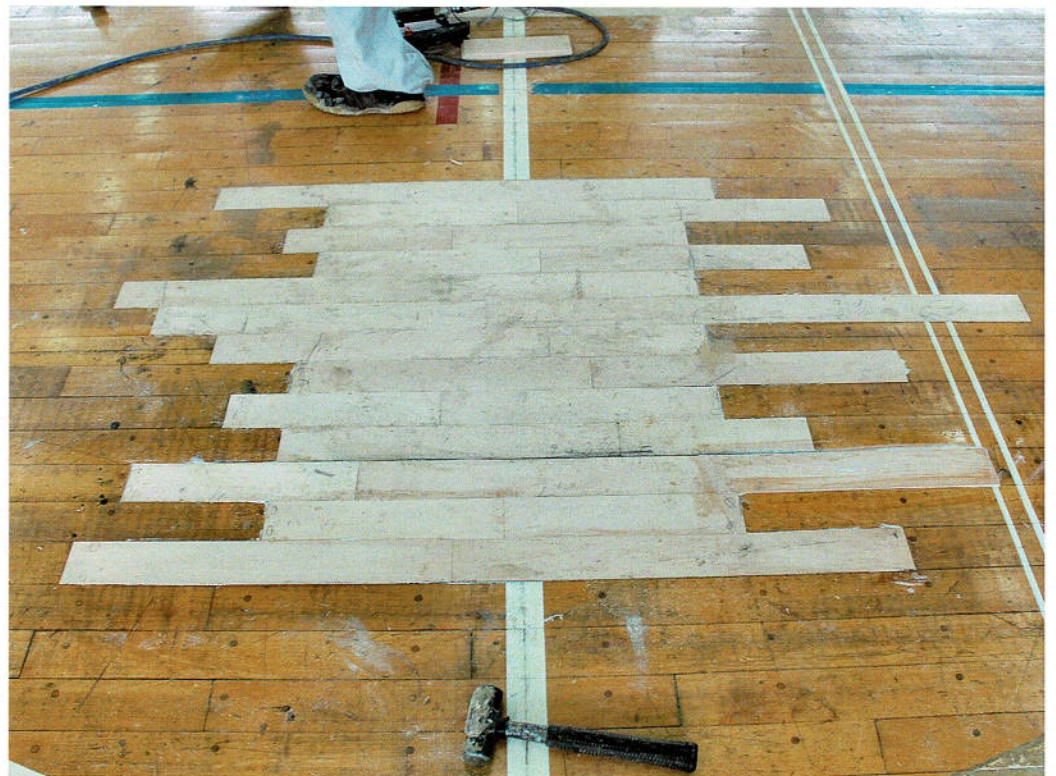
ラインに合わせてぶビス穴開け



木ビスの打ち込み



打ち込み完了



木タボでビス穴をきれいに塞ぐ

補修工程 ⑦



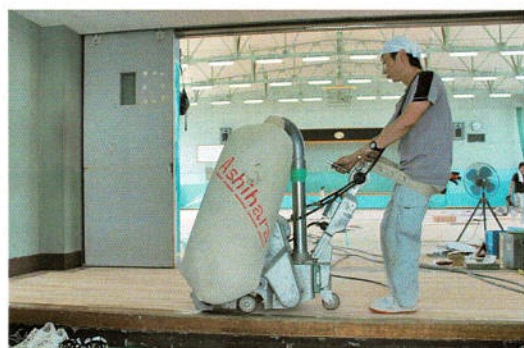
サンダー掛けで表面を研磨(ステージ部)



自走式のサンダー機



1回目のサンダー掛け



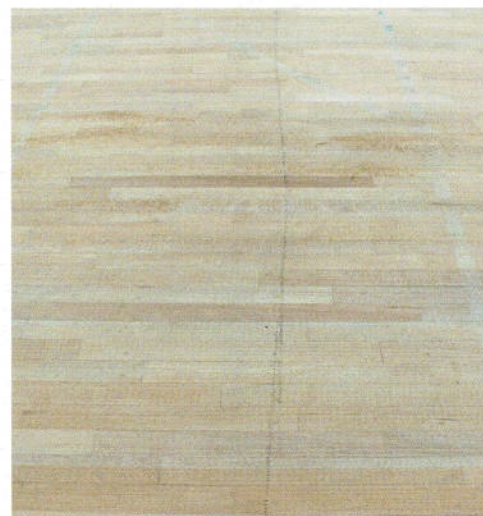
併走式のサンダー機



平行して昇降口の床補修



際は手仕事でサンダー掛け



黒チョークで2回目のサンダー厚を確認



2回目の重ね研磨作業



2回の研磨終了後、微細粉を丁寧に吸引除去

補修工程 ⑧



アクリルクリアワックス材 (2剤硬化型)



全体を4分割して塗布開始



ムラのない塗布技量が求められます

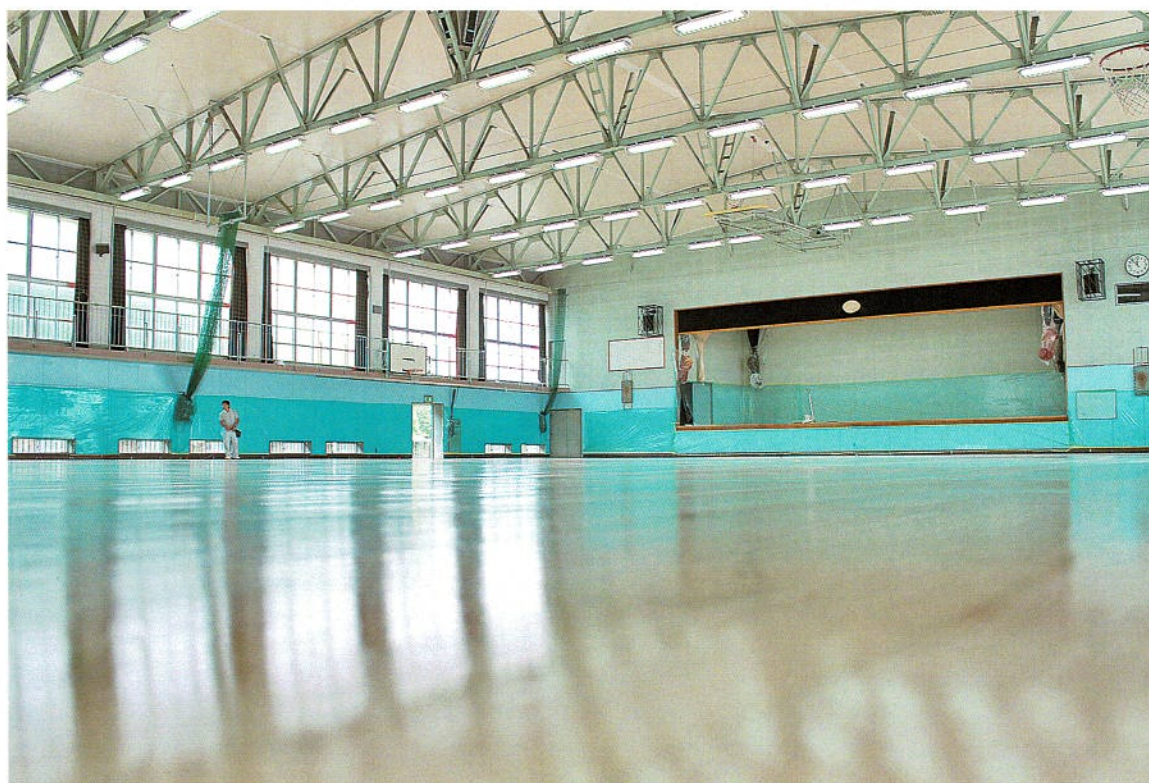


特殊樹脂刷毛ですべて手作業で塗布



2回目のクリアワックス塗布。その後につや出し研磨します

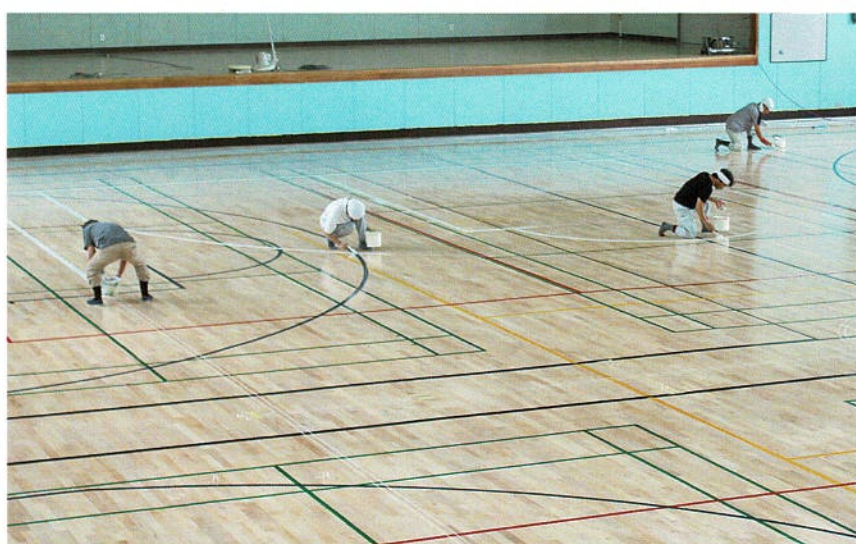
補修工程 ⑨



ワックス剤が乾燥硬化した体育館内。この後、ライン引き作業に入ります



丁寧なマスキングで下準備



各競技用ラインが順番に引きあがる



精密な測図でサークルもマスキング



油性塗料でライン引き



最後にマスキングテープを剥がしてライン引き完了

補修工程 ⑩



裾板の補修



裾板の塗装



圧送車から生コン搬入



基礎部へ生コン注入



パネル固定



設置チェック



凝固後にクリーンアップ



完工

会社概要

商 号 **株式会社三建**

代 表 代表取締役 浅井 守一

設 立 昭和 36 年 9 月 14 日

資 本 金 1,000 万円

従業員数 18 名

事業内容 内装仕上工事、塗装工事、床工事

業務内容 体育館床・プール・ウッドデッキ工事、施工

許可登録 東京都知事許可（般-28）第 36824 号

所得資格 一級内装仕上施工技能士

二級施工管理技士

主要取引先 株式会社大林組

長谷川体育施設株式会社

長永スポーツ工業株式会社

明石木材株式会社

取引銀行 みずほ銀行 世田谷支店

城南信用金庫 碑衾支店

加盟団体 東京商工会議所会員

（一財）日本体育施設協会スポーツフロア部会

全国フローリング技能協会

営業エリア 全国

主な工事実績 代々木第二体育館

早稲田大学体育館

駒沢オリンピック公園

日本体育大学体育館

アメリカ大使館

所 在 地 〒 154-0003

東京都世田谷区野沢 3-3-17

TEL : 03-3410-8161

FAX : 03-3410-8167